

# 一般社団法人森青年会議所 運営規則

## 第1章 総則

### 第1条（目的）

本規則は一般社団法人森青年会議所（以下「本会議所」という）の運営をより充実し、明確かつ円滑にすることを目的とする。

## 第2章 役員等

### 第2条（役員の職務及び権限）

本会議所の役員は、定款第26条に定めるものの他、次に掲げる職務を有する。

#### （1） 理事長

①理事長は、本会議所の代表として対外的な発言をし、総ての統括責任をもつ。

#### （2） 副理事長

①副理事長は、理事長を補佐し、理事長が事故あるときは、あらかじめ理事会において定めた順序によりその職務を代理又は代行する。

②担当委員会を統轄し、活発な活動をはかり、委員会の連絡調整をする。

#### （3） 専務理事

①専務理事は、理事長及び副理事長を補佐するとともに、事務局を統轄し、本会議所の運営の円滑化をはかる。

#### （4） 委員長

①委員長は、委員会を統轄する。

#### （5） 副委員長

①副委員長は、委員長を補佐し、委員会の運営の円滑化をはかる。

#### （6） 直前理事長

①直前理事長は、理事長経験を生かし、本会議所の業務について必要な助言をする。

#### （7） 顧問

①顧問は、その知識及び経験を生かし、本会議所の業務について必要な助言をする。

②顧問は、理事長経験者でなければならない。

### 第3条（監事の職務及び権限）

本会議所の監事は、定款第27条に定めるものの他、次に掲げる職務を有する。

（1） 理事が不正の行為をし、若しくは当該行為をするおそれがあると認めるとき、又は法令若しくは定款に違反する事実若しくは著しく不当な事実があると認めるときは、遅滞なくその旨を理事会に報告しなければならない。

（2） 理事会に出席し、必要があると認めるとき、意見を述べなければならない。

（3） 理事が総会に提出しようとする議案、書類その他の電磁的記録や、その他の資料

を調査しなければならない。

- (4) 前号の場合において、法令若しくは定款に違反し、又は著しく不当な事項があると認めるとき、その調査の結果を総会に報告しなければならない。
- (5) 総会に出席し、必要があると認めるとき、意見を述べることができる。
- (6) 理事及び使用人に対して事業の報告を求め、又は本会議所の業務及び財産の状況を調査することができる。
- (7) 必要があると認めるとき、理事長に対し、理事会の召集を請求することができる。
- (8) 前号の請求があった日から5日以内に、その請求があった日から2週間以内の日を理事会の日とする理事会の召集の通知が発せられない場合は、その請求をした監事が理事会を召集することができる。
- (9) 理事が本会議所の目的の範囲外の行為その他法令若しくは定款に違反する行為をし、又はこれらの行為をするおそれがある場合において、当該行為によって本会議所に著しい損害が生ずるおそれがあるときは、当該理事に対し、当該行為をやめることを請求することができる。

### 第3章 会議

#### 第4条（例会）

- (1) 定款第39条により、例会は原則として毎月7日に開催する。ただし、日曜、祝祭日、その他の事情により開催出来ない場合は、理事会の決議を経て日時を変更することができる。
- (2) 例会は理事長が議長となり、会員相互の親睦とJC活動推進のため連絡協議を主たる目的とする。
- (3) ゲストを招く場合は講話を開き、会員の修練を主たる目的とする。
- (4) ゲストの選定は原則として理事会の承認を受けるものとする。
- (5) 例会は原則として午後7時30分より開催する。会員は、バッジ、ネームプレートを付けて着席する。
- (6) 閉会は原則として午後9時30分とする。

#### 第5条（理事会）

定款第35条により、理事会は原則として毎月1日と16日の午後7時30分より開催する。ただし、日曜、祝祭日、その他の事情により開催出来ない場合は日時を変更することができる。

#### 第6条（委員会）

- (1) 各委員会は毎月1回以上委員会を開催する。
- (2) 前項の他、委員長が必要と認めた時、または所属委員の3分の1以上の請求があった時は委員会を開催しなければならない。

- (3) 委員会を開催する場合は、委員長は理事長及び担当副理事長に会議の開催日時、場所及び議題を事前に報告しなければならない。
- (4) 委員会は委員長が議長となり、委員長事故ある時は副委員長が議長となる。理事長及び副理事長が出席する時は共に決議権を有し、会議の議決は出席者の過半数をもってし、可否同数の時は議長の決する処による。
- (5) 2以上の委員会に関連する事項については、合同委員会を開催し、担当副理事長の招集の下に担当副理事長が議長となり議決する。
- (6) 委員会の決議事項は理事会の承認を経て本会議所の決議とする事が出来る。ただし、定款第21条の総会の決議事項は除く。

## 第4章 委員会

### 第7条（委員会の設定）

定款第40条に基づき、次の通り委員会を設定する。

各室ごとに1つ以上2つ以下の委員会を設置する。

### 第8条（委員会の種類及び活動内容）

#### (1) 総務室

定款の整備、会費の徴収責任、財務管理、事務所の管理庶務、褒賞、会報、年報の作成及びその他広報活動を通じJC活動のPR、例会の運営の他、本規則に定める事項。

#### (2) 第1開発室

JC及び地域社会における各分野の長期展望プラン化調査研究、地域住民、各種団体等の親睦を主とした事業の展開及び企画立案、豊かな地域社会建設のため実践的な活動及び、JC活動を基調とした青少年教育への諸般の実践。

#### (3) 第2開発室

会員自己の修練と人格の涵養に関する実践及び新入会員の教育、産業経済に関する調査並びに実践、会員相互の啓発、親睦、実践並びに新入会員資格審査、国際親善関係の促進確立に関する事項の他、本規則に定める事項。

### 第9条（特別委員会及び渉外委員会）

前条の他、JC活動上特に必要と認められる場合は、理事長は理事会の承認を得て、特別委員会を設ける事が出来る。この場合、定例委員会議の規則は適用しない。

### 第10条（特別委員会の委嘱）

前条特別委員会を設ける場合は、委員長の申出により本会議所正会員の他、理事会の承認を得て、外部より委嘱することが出来る。

## 第5章 書類作成及び保存

### 第11条（議事録）

- (1) 定款第23条に定めるものの他、理事会及び委員会の議事録を作成しなければならない。
- (2) 理事会においては理事長が議事録作成者を指名する。
- (3) 委員会においては各委員会でその議事録を作成する。
- (4) 理事会における議事録は事務局に保管し、欠席理事は事務局で閲覧することとする。

#### 第12条（議事録の記載事項）

- (1) 開催年月日、曜日
- (2) 会議名、会議場所
- (3) 出席人数（委任状を含む）
- (4) 議事の経過の概要及び結果
- (5) 以上の他、必要な事項若しくは筆者の感想

#### 第13条（会報）

- (1) 会報は会議の状況その他連絡事項を会員に通知し、会員に本会議所の活動状況及び正副理事長の運営方針を知らしめることを目的とする。
- (2) 会報は総務室の担当委員会がその原稿を作成、印刷し会員に配布する。

#### 第14条（出欠簿）

会員の会議出欠状況を常時正確に把握するため、総務室の担当委員会が作成して次の例会に表示する。

#### 第15条（会員名簿台帳）

- (1) 会員名簿には、氏名、生年月日、自宅住所（電話番号）、勤務先（電話番号）、役職名、所在地、業種、出身校、血液型を記載する。
- (2) 本台帳は毎年総務室の担当委員会が作成し事務局に保管する。

#### 第16条（会員手帳）

- (1) 毎年会員手帳を作成し、会員に配布する。
- (2) 会員手帳は次の事項を記載する。
  - ①一般社団法人森青年会議所定款
  - ②一般社団法人森青年会議所運営規則
  - ③一般社団法人森青年会議所会員資格規則
  - ④会員名簿
  - ⑤名誉・賛助・特別会員名簿
  - ⑥役員名簿
  - ⑦委員会名簿
  - ⑧本会議所選出の出向者名簿
  - ⑨その他必要事項

## 第6章 褒賞

### 第17条（褒賞）

本会議所の目的達成に著しい功績があった会員に対し、褒賞を行う。褒賞は、総務委員会において審査し、理事会の承認を受けて行う。

#### （1） J C 賞

- ① J C の拡大に著しく務めた者。
- ② J C 運動に顕著な功績のあった者。
- ③ J C の評価を高める社会的功績のあった者。

#### （2） 出席賞

- ①該当年度の例会に出席が優秀なる者。

#### （3） 御苦労賞

- ①本賞は理事長及び出向役員を勤めた会員に記念品を贈って表彰する。

## 第7章 慶弔

### 第18条（正会員の結婚）

正会員の結婚に対し記念品（年会費の10分の1相当）を贈り之を祝す。

### 第19条（正会員及びその事業の慶事）

正会員並びにその事業の慶事に関しては理事会の決定により之を祝す。

### 第20条（正会員の転勤）

正会員の地方転勤に対しては記念品を贈る。

### 第21条（正会員の病気・災害見舞）

- （1） 正会員の病気入院の際の見舞金（年会費の12分の1相当）等を贈り之を見舞う。
- （2） 正会員及びその事業の災害に対してはその都度理事会において協議し、金品を贈り之を見舞う。

### 第22条（死亡）

- （1） 正会員死亡の時は、供花及び香典（年会費の6分の1相当）を贈り新聞広告（地方紙時価）をして之を弔す。
- （2） 正会員の父母、妻子死亡の時は、香典及び供花（年会費の12分の1相当）を供し之を弔す。
- （3） 前項以外の場合において、本会对する功労ある者については理事会において決定し之を弔す。

### 第23条（正会員以外の慶弔）

正会員以外の者にあっても本会への協力者又は先輩に対する慶弔は理事会の決定に基づいて之を行なう。

## 第8章 旅費

#### 第24条（公務出張）

本会議所の公務により出張する時は旅費として一部支給することが出来る。

#### 第25条（大会及び記念式典参加）

地区・全国会員大会並びに記念式典及び国際会議等に参加の会員に対しては理事会の承認を受けて大会登録料及び旅費を支給することが出来る。

### 第9章 事務局

#### 第26条（事務局の設置）

事務局は定款第45に基づき設置され、次の庶務を行う。

- （1） 会費その他必要資金の徴収、金銭の出納並びに諸帳簿の整理保管
- （2） 文書の受発信分類、書類のファイル並びに保管
- （3） 印刷物の作成
- （4） 印鑑、書類、什器備品の管理保管
- （5） 議事録の保管
- （6） その他必要な連絡事務

#### 第27条（帳票）

前条第1項の帳票を次の通り定める。

- ①金銭出納帳
- ②総勘定元帳
- ③会費徴収簿
- ④特別会計元帳
- ⑤伝票及び収支証拠書類
- ⑥前各号の他、必要に応じ、その他の帳簿を備えることができる。

#### 第28条（金銭の出納責任者）

- （1） 出納責任者は専務理事がこれに当たる。
- （2） 出納責任者は、金銭の保管及び出納を取り扱わせるため、事務局員を出納担当者として定めるものとする。

#### 第29条（金銭の出納事務）

事務局員は、出納責任者の認印を得た伝票によるほかは、金銭出納の事務を行うことができない。

#### 第30条（金銭の受領）

会費その他の金銭を受領したときは速やかに金融機関に預け入れるものとする。

#### 第31条（金銭の支払い）

- （1） 支払いは、原則として銀行振り込みとする。
- （2） 支払いの証票書類を受領することができないときは、伝票所定欄に関係者の署名捺印を受け、これに代えることができる。

### 第32条（文書等の整理保存）

（1） 事務局は事業年度ごとに次の分類に従い文書等を整理保存する。

#### ①永久保存文書

- イ）定款、運営規則、会員資格規定、役員選出規定
- ロ）総会、理事会の議事録及び議決書等の重要文書
- ハ）許認可申請、届出書関係綴
- ニ）登記関係書類
- ホ）認可書類
- ヘ）会員台帳
- ト）決算関係書類
- チ）設立趣意書
- リ）その他重要で永久保存の必要があると認める文書

#### ②10年間保存

- イ）会計帳簿及び帳票類
- ロ）その他10年保存の必要があると認める文書

#### ③5年間保存

- イ）例会の記録
- ロ）庶務一般綴り
- ハ）その他5年保存の必要があると認める文書

#### ④3年間保存

- イ）公益社団法人日本青年会議所及び他青年会議所等の文書綴り
- ロ）その他3年保存の必要があると認める文書

#### ⑤1年間保存

- イ）1年を超えて保存の必要があると認める軽易な文書

（2） 保存期間を経過した書類を廃棄するときは、理事会の承認を必要とする。

## 第10章 特別会員（OB会員）

### 第33条（特別会員への通知）

- （1） 本会議所主催の記念行事並びに会員大会等、親睦を深める行事については通知しなければならない。
- （2） 会報以外の本会の研究報告その他出版物を送付しなければならない。

## 第11章 賞罰

### 第34条（除名）

定款第12条の除名について次の通り定める。

- （1） 特別の理由なく定例会の出席数が当該年度中6回（50パーセント）を下回る協力

的でない正会員については総会の決議によって除名する。

- (2) 正会員が所定の期日までに所定の会費（負担金を含む）を納入しなかった場合、総務室の担当委員会は直ちに1ヶ月間の猶予期間を設け推薦者を通じて会費納入の督促状を送付する。この督促に対して何等回答のないときは総会の決議によって除名する。

## 第12章 補則

### 第35条（補則）

この規則に定めるもののほか、必要な事項は理事会の決議により別に定める。

### 附則

この規則は、一般社団法人森青年会議所の設立の登記の日（平成24年〇月〇日）から施行する。